

会議の目的を理解する

何のために会議を行うのか

会議にかかるコスト



Ex) $10人 \times 3時間 = 30時間$

時給 2 千円の場合、

6 万円のコストがかかっている

会議でしかできないこと = 「人が集まらないとできないこと」のために、これだけのコストをかけて会議を行っている。

その「人が集まらないとできないこと」が、会議の目的となる。

会議の4つの目的

人を集めて行う必要のある会議には、大きく4種類の目的がある。

- ① アイデアを出す会議
- ② 問題発見と解決の会議
- ③ 情報共有の会議
- ④ 審議・検討の会議

特に「論理的な話し方」が求められる会議

「②問題発見と解決の会議」では、「論理的な話し方」ができているかどうかの影響が、特に大きい。

「問題発見と解決の会議」の論点となる

- ・なぜ、それが問題なのか？
- ・なぜ、その解決策が有効なのか？

これらが論理的に伝わらないと、どれだけ発言しても「空気の読めない存在」だと誤解されてしまい、他の参加者の評価や印象に大きく影響してしまう。

このような状態にならないためにも、「会議の目的」を理解し、「論理的に話す」ことは非常に重要となる。

次回の学習テーマ：会議で必要とされる存在とは